

浦安市学校教育推進計画(後期)(素案)に対する意見と市の考え

- A: 意見を受けて加筆・修正したもの
 B: 案に意見の考え方が概ね含まれていたもの
 C: 案に意見の考え方が一部含まれていたもの
 D: 案に意見の考え方が反映・修正しなかったもの
 E: うち計画案に関連する質問などその他のもの

番号	分類	意見の要旨	対応	市の考え	資料該当箇所など
1	第4章 子ども像の実現に向けて 第1節 主体的な学び	<p>コロナの感染拡大以降、タブレット端末も一人一台貸与されて数年が経過したものの初期投資に対する効果は低いと感じています。</p> <p>重たい端末を活用されないとわかっておりながら教科書やその他学用品と一緒に持ち運ぶ姿はとでも子どもの為になっているとは思えません。子どもが受けていたオンライン授業では、通信の不具合で見ることができませんでした。教員のICTに関する研修時間も限られていると思います。端末の不具合や破損について、何度か学校に申請したが修理の順番が回ってきません。端末の全員配布は良いが、運用がどうなっているのか不明です。</p> <p>以上の事から、タブレット端末を活用するのであれば、管理・運用を含め外部委託して最大限に活用していただきたいです(初期設定、簡単なプログラミング、IT リテラシー教育なども含め、動画での教育は特に理科、社会の授業においては素晴らしい効果があると思います)。</p> <p>その際、紙の教科書は廃止、もしくは学校、家庭に置いておくものとして子どもたちの荷物を軽くすることを希望します。</p> <p>それが不可能であればタブレットは自宅学習用で家庭に置いておく、それも不可能であればタブレット端末貸与は廃止で良いと思います。</p>	E	<p>タブレット端末の導入時は、通信の不具合が見られることがありましたが、現在は、各学校の回線の改修工事を進め、通信状況が改善されています。</p> <p>また、教職員に対するICT研修の実施をはじめ、各学校にICT支援員を配置し、授業のねらいを効果的に実現させるためのICT機器の活用場面の提案や教材の作成支援、授業中の機器操作の支援などを充実させているところです。</p> <p>一方、登下校において、子どもたちの荷物が重くなっていることは承知しています。各学校においては、持ち帰る荷物を減らすなどの工夫をして、なるべく子どもたちへの負担を軽減するよう努めているところです。</p> <p>タブレット端末の配備・運用から5年が経過しており、現在、端末の再整備に向けて計画を進めています。故障した端末への対応も含め、児童生徒がよりよい学びにつなげられるよう、タブレット端末の配備・活用をより一層推進していきます。</p>	<p>P26</p> <p>1-1-1 一人一人に応じたきめ細かい指導の推進</p> <p>4「情報活用能力育成の推進」</p> <p>5「ICT環境の整備及び効果的な活用」</p>
2	第4章 子ども像の実現に向けて 第3節 健やかな体(体)	<p>学校見学の際に拝見しました給食の量、質ともに私が小中学生だった頃と比較して、低下しているのではないかと感じました。</p> <p>給食センターの献立を確認する限り目標カロリーは摂取しているようですが、種類も少なく、かつて掲げられていた一日30品目といったスローガンは明らかに風化してしまったようです。</p> <p>今回の計画内で示されている食育の推進においては、具体的な指導方針は見えてきませんが、学校で食育を指導するならばそもそも給食は食育の観点から十分な内容になっているか疑問に思います。</p> <p>既に施行されている給食費無償化は各家庭の負担を無くし素晴らしい施策だとは思いますが、お金を払ってでも質、量ともより充実した給食を与えてほしいと思う気持ちが湧きます。</p> <p>成長期に十分な栄養が得られないことは子どもたちの本来期待されていた成長を阻害し、影響は成人後にまで及びます。ぜひ給食メニューの充実に向けて舵を切っていただきたいと思います。</p> <p>献立の充実のために給食費有償化もやむなしと考えておりますが、もし無償化が続くならば、給食費の増加を移住市民からの税金によって補う好循環が回ってほしいと切に願います。</p>	C	<p>以前は厚生労働省が「一日30品目」を提唱していましたが、学校給食については、文部科学省が公表している「学校給食摂取基準」を参照しながら、学校における食育の生きた教材となる学校給食の充実を図るため、様々な食品を組み合わせた「バランスのよい食事」となるよう献立を工夫しています。</p> <p>また、学校給食を通じて、将来の健康維持・増進に必要な知識等を子どもたちが習得できる環境づくりにも努めています。</p> <p>今後も国や県の施策を注視しながら、引き続き地産地消や旬の食材の積極的な使用など、食育を推進する取組を行ってまいります。</p> <p>学校給食費無償化につきましては、教育費が年々増加し、保護者の経済的負担が増している状況から、子育て世帯の一層の負担軽減を図るため実施しています。</p>	<p>P42</p> <p>3-1-2 健康・安全教育の推進</p> <p>35「食育の推進」</p> <p>P66</p> <p>5-3-3 就学に対する援助の充実</p> <p>73「学校給食費の無償化」</p>

浦安市学校教育推進計画(後期)(素案)に対する意見と市の考え

- A：意見を受けて加筆・修正したもの
 B：案に意見の考え方が概ね含まれていたもの
 C：案に意見の考え方が一部含まれていたもの
 D：案に意見の考え方が反映・修正しなかったもの
 E：うち計画案に関連する質問などその他のもの

3	第4章 子ども像の実現に 向けて 第3節 健やかな体(体)	10ページに「交通安全のルールについて家族で話し合っている」の質問に対する回答結果が記載されていますが、最近、自転車のルールも大きく変わり、ヘルメットも努力義務となりました。改めて、自転車の乗り方やルールなどについて学校教育の中で学ぶ機会はあるのでしょうか。	E	警察と連携した交通安全教室や自転車交通安全教室を定期的かつ継続的に開催し、交通安全教育の充実を図っています。 また、令和5年4月1日から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されたことを受け、自転車乗車用ヘルメットを購入する際の費用の一部を市が負担する補助金制度を設けています。 これらの取組により、浦安市では自転車の乗り方やルールに関する教育を学校教育の中で積極的に行い、児童生徒の交通安全意識の向上を図っています。	P10 図 11「交通安全のルールについて家族で話し合っている」の質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合 P42 3-1-2 健康・安全教育の推進 36「交通事故防止対策の充実」
4	第4章 子ども像の実現に 向けて 第5節 教育環境の整備・ 充実の推進	キッズビューについて、なぜ、このシステムが選定されたのか不明ですが、使いづらさがあり、別システムへの乗り換えの検討をお願いしたいです。それと、システム上で電子にて手紙配布が可能な為、全ての手紙を電子化していただきたいです。紙と電子のダブルスタンダードは便利な言葉ですが、管理上は大変不便さを感じています。	E	キッズビューは、市立保育園及び認定こども園等で使用しているシステムであり、小学校に進学した際も、使い勝手が変わらず、スムーズな利用が可能であることから、保護者にとって負担が少ないと考え、選定したところです。 利用者からの要望により、改善が必要な場合は、事業者と協議の上、随時対応していきたいと考えています。 また、手紙を電子配布できるシステムを最大限活用しながら、効果的な運用を進めていきます。	P60 5-2 開かれた学校づくり
5	第4章 子ども像の実現に 向けて 第5節 教育環境の整備・ 充実の推進	集金の電子化について、本年度より「学校モール」というシステムで集金が電子化されました。大変良い取組だとは思いますが、1回の手数料が高いのと、校外学習費、作品出展料などは現金徴収が残っており大変わかりづらいです。PTA会費に至っては学校への払い込みと別タイミングでの徴収になり、都度手数料が発生しています。手数料自体は大した額ではないですが、集金額自体も少額なので手数料が占める割合が大変高く、納得性に欠けます。都内の私立中学等は、先払いにて学級費を払い、年度末に精算しているなどの例があり、1年間1回の払い込みで済むような工夫があっても良いと思います。	E	子どもたち一人一人と向き合う時間を確保するため、市教育委員会では集金システムを活用するなどの集金業務の改善策を提案し、教職員が担う業務の適正化を進めています。 システムを運用する学校に対しては、集金の度に手数料が発生することを念頭に、集金回数を減らすなど、なるべく各家庭に負担を強いることのないよう学校に周知していきます。	P61 5-2-3 教員が子どもと向き合う環境の整備 59「子どもと向き合う環境整備(教職員の働き方改革)」